

食の安全推進のためのタウンミーティング結果

開催日: 令和5年10月18日(水)
場 所: 牧之原市総合健康福祉センター「さざんか」
主 催: 静岡県
当日参加人数: 19人

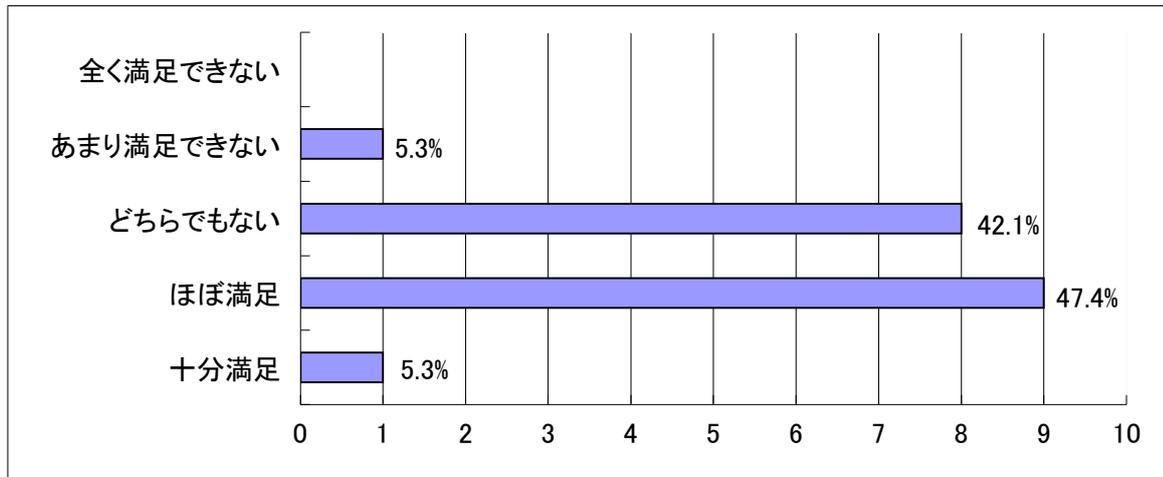
I 参加者

(1) 男女比

男性	0人
女性	19人
合計	19人

II タウンミーティングについて

(1) タウンミーティングの満足度



III 意見・感想(アンケートから抜粋)

- フードロスの取組について知りたい。
- 県としてこのような食の取組をしていることを知らなかった。
- お茶の残留農薬について興味がある。
- 食料の販売店のチェックはどうなっているか

IV 参加者からの意見・質問

アレルギーの方が増えているがなぜか。

(県回答) 原因については、お答えできないが、増えているのは事実。健康被害につながるため、表示についてミスがないように特に指導を行っている。

昔から食品の食べ合わせで、体調を崩すことがいわれているが、そういったものについて、表示をしてもらえるとありがたい。

(県回答) 食品の食べ合わせで、健康被害が起こるというよりは、食中毒の原因物質が付着していること、あるいは本人の体調が原因だと思われる。

農業を営んでいるが、有機栽培では難しい作物、土壌もある。

(県回答) 国として有機栽培を進める目標を立てているが、農薬、肥料を用いないとコストがかかるので、消費者、小売り事業者の正しい理解も必要で進めていこうとしている。有機栽培の方法については、国、県の研究機関で進めているので還元していきたい。